

第20回

昔を！今を！今歌う会

真っ赤に燃えて 夏の歌を
みんなで歌いましょう！

おはなし・歌唱指導 酒井沃子 安田直弘

ピアノ 半澤尚美



2014年7月16日(水) 開演 14:00

アートフォーラムあざみ野 1階レクチャールーム

■ 主催 今歌う会実行委員会

プログラム

第一部 夏の歌あれこれ

- ・夏は来ぬ 作詞：佐佐木信綱 作曲：小山作之助
- ・茶摘み 作詞・作曲：不詳
- ・夏の思い出 作詞：江間章子 作曲：中田喜直
- ・われは海の子 文部省唱歌
- ・海 作詞：林柳波 作曲：井上武士
- ・海 文部省唱歌
- ・お祭りマンボ 作詞・作曲：原六朗
- ・少年時代 作詞・作曲：井上陽水
- ・芭蕉布 作詞：吉川 安一 作曲：普久原恒勇
- ・さとうきび畑 作詞・作曲：寺島尚彦
- ・思い出の渚 作詞：鳥塚繁樹 作曲：加瀬邦彦
- ・真赤な太陽 作詞：吉岡治 作曲：原信夫
- ・盆踊りメドレー ♪花笠音頭 ～炭坑節～ 東京音頭
- ・庭の千草 日本語詞：里見義 曲：アイルランド民謡

♪♪♪♪♪♪♪♪ 休 憩 ♪♪♪♪♪♪♪♪

第二部 “音楽で笑おう！” 声の不思議

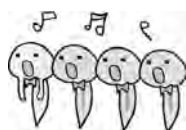
- ・音痴とはなんぞや

♪フローレンス・フォスター・ジェンキンス嬢をテーマに考察する。

—講師：安田直弘

第三部 リクエストコーナー

- ・皆様からいただいたリクエスト曲をみんなで歌いましょう。



♪プログラムの進行上、曲順、曲目等が変更になることがあります。
あらかじめご了承ください。

エピソード

「人間の声と栄光 ?????」

有史以来、人類最古の楽器は人間の声であると言われています。

そして最高の楽器かもしれません。

「人間の声と栄光 ?????」（英語名：The Glory(????) of The Human Voice) という有り難い題名のレコードを発表したのはアメリカのフローレンス・フォスター・ジェンキンスという女性。

英語版 Wikipedia を調べると

「Florence Foster Jenkins (July 19, 1868 November 26, 1944) was an American amateur operatic soprano who was known and ridiculed for her lack of rhythm, pitch, and tone; her aberrant pronunciation; and her generally poor singing ability」.

とある。

要は「彼女はリズム・音程が悪く（音痴?）、下手くそで有名」などと書いている（らしい）。

その彼女の作品が、2001年、RCAレーベル（蓄音機と犬のロゴで有名）の創立100年を記念して、復刻盤が発売されたという。まさに偉業ではありませんか。



一度聴いたら忘れられない。そんな伝説的な女性はどんな方なのか、興味を持ちませんか？

彼女の人生は波瀾万丈。一冊の本が書けるくらいのボリュームになるでしょうが、ここではざっと紹介します。

彼女は1988年生まれ。彼女の父親は石油会社を経営する大富豪。

フローレンスは幼少のころから、音楽が大好きでソプラノ歌手になるのが夢だったが、娘に甘い父親もあまりの下手さ加減に呆れて、彼女が要求する海外留学の資金提供を断った。

そんなことから、彼女は若い男と駆け落ちして（後に離婚）しまう。

ニューヨークでのリサイタルで意気揚々としている彼女に、再婚した金持ちの夫も遂に離婚を言い渡す。

そして数年後、運悪く（良く?）大金持ちの父親が他界する。

夫からの慰謝料と父親からの膨大な遺産が入れば、鬼に金棒。絶対自信のある美声を武器に、本格的な音楽活動に邁進することになる。

リサイタルは毎回満席。もっとも、経費は全て自腹だったらしいが・・・。

そして、1944年（当時76歳）、ついにカーネギーホールでリサイタルを開いてしまった。

今でこそ、単なる貸しホールとなった感のあるカーネギーホールだが、当時は大変な格式があったものだ。

ま〜彼女は公演実現の為に相当の金をバラマイタのではと邪推するが、彼女の人気は凄まじく、チケットは公演の数週間前に完売したというのだから、世の中わからない。

彼女はその公演の1ヶ月後に急死。その“栄光”につつまれた幸せな人生を終えることになります。

彼女は当時レコーディングの際、1テイク目を終えた後に「もう一回録ります……よね?」と恐る恐るたずねる録音技師に、「結構よ、今ので完璧だから」とにこやかに答えたとか。“根拠なき自信”でも、無いよりあった方がよろしいかも。そして、アマチュアだった彼女の、音楽の常識を超越した独創的な歌とパフォーマンスがファンを引きつけたようです。

「人間の声と栄光 ?????」は彼女の死後にLPとして1962年に発売。その後数度、再版をくりかえし、50年以上にわたる超ロングセラーとなる。現在でもAmazonなどでCD（2,000円程度）が入手でき、「夜の女王のアリア」（モーツァルト）などが楽しめます。

*一部、インターネット上からのコペビあり。

プロフィール

酒井 沃子 Yoko Sakai

東京藝術大学音楽部声楽科卒業。数々のコンサートの企画運営に情熱を注ぎ、既成概念を破る印象的なステージ創りを次々と実現させている。コーラス4団体の主宰をし、個性を持った何処にも無いグループとして育てている。平成15年設立された、NPO法人「65歳からのアートライフ推進会議」では、理事長として、青葉区から発信する音楽イベントを実現させ、多方面から注目を浴びている。「昔を今を今歌う会」では、主宰・指導者として、地域の音楽に貢献している。

安田 直弘 Naohiro Yasuda

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業後、シャンソン、ポップス、ソウルバンド等、長年演奏活動を続ける。NHK レッツゴーヤングの歌唱指導等で高い評価を得る。現在、歌手・俳優へのヴォイストレーニングでも活躍中。東海大学、文化学院大学非常勤講師。

半澤 尚美 Naomi Hanzawa ピアノ

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。ピアノを井口基成、森安芳樹、室内楽を岩崎 淑の各氏に師事。虎ノ門ホールにてデビューコンサート、県立音楽堂にて横浜弦楽四重奏団と競演。イタリア、シェナ夏期講習に参加。現在、昭和音楽大学および同大学付属音楽教室ピアノ講師として後進の指導にあたる。

スタッフ

- ・山本 桂子 (事務局長) ・丹羽 綾子 (ステージコーディネータ) ・坂野 義雄 (事務・会場)
- ・藤本 裕 (構成・プログラムデザイン) ・その他ボランティアの皆さん

*表紙の写真は宮田豊年氏提供。

☆ 次回 (第21回) のご案内 ☆

・2014年10月22日 (水) 開演 14:00 (開場 13:30)

・会場: あざみ野アートフォーラム

・お問い合わせ & リクエスト先: オフィスバルーン Tel. 045-902-7402
Fax. 045-901-9914
E-Mail. office_balloon@a00.itscom.net